

# 学校運営協議会

令和6年6月18日

9:30～

会議室

進行：事務局

参会者：学校後援会長	黒澤 哲人様
中部地区公民館長	木村 勝男様
有識者	長岡 佳奈様（欠）
保護者代表	長岡 祥子様
P T A会長	嶋貫 大地様
地域活動推進員	巻坂 駿様
飯豊わくわくこども園長	志田登紀子様
民生委員代表	片桐 天山様
主任児童委員	小松 弘子様
地域学校協働活動推進員	小松 和浩
校長	竹田 安路
教頭	安部 行史
教務主任	長谷部 靖
他： 地域学校協働推進	高橋 戒舟様
開校準備室	横山様
	長岡様

※今年度変わられた学校協議会委員の方に任命

保護者代表 長岡 祥子様  
飯豊わくわくこども園長 志田登紀子様

1 開 会 ※開会は事務局で行った。

2 校長あいさつ

- ・学校では水泳が始まり、各学年1回目は、自分のいのちを守るという観点から着衣水泳を行った。
- ・子供の命を最優先に考え6月1日、運動会を行った。後ほど感想等も教えてほしい。
- ・テントが強風のため破損。校区の佐藤鉄筋さんにご相談し、修理していただいた。
- ・ひょうたん池の土砂を樋口建設さんに、ダンプで6杯分すくい上げてもらった。錦鯉までいただいた。
- ・地域の皆様に支えられていることを痛感している。

3 授業参観（9：45—10：06）

4 学校経営の方針及び重点について

- ・6月1日より、スクールサポーターが配置。
- ・今年度の合言葉について説明。

- ・重点は4つ。項目は昨年度と同じ。重点1は主に学力に関わるもの。特に立腰、えんぴつのもち方は町全体の取組。ポスターは教室に貼られていた。今年度は家庭にも配付し、啓発を目指している。ICTにも力を入れていく。デジタル教科書を使いながらハイブリッドな形で使用している。教育委員会の方に感謝。自己調整力をつけていく。これからの多様性の時代、興味関心を掘り下げる勉強に。宿題は自分で設定してみる。
- ・重点2について。あいさつ会釈。あいさつの合言葉など大切にしながら指導を進めている。児童会総会の中で子ども達が課題とするものについて話し合う場を設けた。数値でははかれない能力（非認知能力）を育てていく。
- ・重点3について。粘り強くやり切る力を大切にしている。そしてメディアコントロール。どう取り組んでいくか学校としても考えていきたい。
- ・重点4について。今年度はSDGs。地域おこし隊の方を講師に。各学年で取り組んでいる。

## 5 地域連携活動の計画について

- ・栽培活動、お話をお聞きしたり、一緒に活動したりする活動、地域に出かけていき、地域について見聞を広めたり深めたりし、地域の方と関わる活動

## 6 協議（座長：黒澤哲人様）

### （1）学校経営の方針及び重点について（校長）

- ・運動会が6月になり、PTAも不安があったが、短い時間でよく創り上げた。スローガンどおり一致団結してできたのはこれからに生きると思う。幼保連携の観点からもすぐに上級生にもまれたこともよかったと思っている。効果的であった。
- ・今年度の経営の方針等は、PTA総会等で説明もしっかり受け、授業参観でも子ども達のいきいきとしたすがたが見れた。このまま順調にと思っている。
- ・6月の運動会、子ども達の姿すばらしかった。いろいろなお手伝いもPTAご苦勞様だった6年生にとってはきっと苦しいところあったと思うが。これから先、まとめていける力ついたのではないか。経営の重点に「粘り強く」「最善を尽くす」の言葉あった。子ども達なりのそれを大事にしていくこと大切と感じた。
- ・自己調整力という考え方出てきたこと、良かった。とても賛同している。

～ 承認 ～

### （2）いいでの森学園に残したい地域連携活動について

- ・校名に森が入ったというところで、これからは地球環境を大切にしていける子どもを育てなければならぬ。森を考えていく学習があればいいと思っている。
- ・一緒になるまで、各学舎でこういった勉強を入れていくといいのでは。
- ・(それぞれの学舎での学年割を確認後) 学習はどの学舎でも同じ内容を行う。お店見学などで、行く場所は異なるかもしれないが。北と南は基本的に同じ学習内容で行うことになる。
- ・森をテーマにということを考えてみると、添川では緑の少年団などをやっている。義務教育学校がスタートするとき、ここら辺はどう変わる？
- ・残したい活動を各学校に出していただく。その後、教育課程部会で話し合う。学校がそれぞれ全部でやっていることについては残すが、学校個別でやっているものについては残さないことが多いようだ。しかし、一つの学校になる時、今回はもう少し広く考えていく。
- ・第一小の動きは千倉交歓会か。添川の緑の少年団はどうなる？
- ・教育委員会だけでなく農林整備課などのつながりもあり、多方面からご意見を頂戴しながら進

めていく。第一小の場合、千倉については別組織で検討する。来週行う。委員は歴代P会長、現P会長、学校後援会長、子ども育成会事務局、第一小校長、町校長会長、町母親委員長、その他学校PTA会長さん、事務局で行う。

- ・ぜひ残したい活動として、そのほか具体的なもの出てきていないが、地域の協力をいただきたい様々な活動が今後教育課程検討委員会で議題に上がることになる。その際はバックアップをお願いしたい。

### (3) 児童について (情報交換)

- ・公民館の使用の様子について、あいさつは元気でいいが、帰る時は無言でというお子さんもいる。中にはお礼を言って帰る子もいる。面倒を見てくれる上級生の様子も見られる。その反面お菓子を持ってきて遊んだり、ゲームをしたりしている。充電させてくださいと断りを入れてさせてもらう子どももいるが、勝手には使わない形にしている。また駐車場で遊んでいる子ども多い。学校での決まり事、ルールとあっているかどうか見に来ていただきたい。遊びにくる人数が増えてうれしい反面、なかなか制御できているとはいえない。近くの工場から、ボールが飛んで行ってのクレームもあった。注意をしても直されないところもみられる。
- ・公民館に来てから買いに行ったり、買ったものを持ってきたりしているようだ。ゴミがかくされていたり、排水口に流されていることもある。子ども達にごみを拾わせるイベント化必要か。たばこの吸い殻も一定箇所に投げられていたりする。使用の際みんなで気をつけていきたい。
- ・子ども同士がそれぞれの家に遊びに行くことあった時代は、おじいちゃんおばあちゃんがいろいろ教えてくださった。(冷蔵庫のドア開けない、靴はそろえるなど) 公民館や公園に、ここはごみをすてていいところなんて認識が出てしまうと、大変になる。マナーなど、学校で教えていただくだけでなく、地域みんなで指導できる雰囲気が高まればよい。学校でのきまり、約束がいろいろなところに共有できていればと思った。ホームページなどにも載せてほしい。
- ・実際、他人の子どもはなかなか怒れない。一番難しいところである。地域の中で、悪いことは悪い、いいことはいいと、子ども達を育てていきたい。
- ・礼儀正しい子もいる。自転車の乗り方もルールを守っている。
- ・町の企画課とタイアップし、企画力のある子どもを育てる計画があること聞いている。自分達に何かできることはないか考えさせるいい材料でもあるという感想を持った。すぐには解決しないし時間はかかるが。

### (4) その他

- ・閉校式典の実施計画について
- ・義務教育学校スタートにあたり、6年生が通学班長だったのが4年生になる。不安があることを承知している。第二回の学校運営協議会で議題にしてほしい。だれがいつどんなふうに活動をして見守っていくかについても第二回で話し合ってもらいたい。「持続可能な」という視点も加えて。

## 7 その他

- ・閉校にあたり、お金の処理についても学校ごと、PTA、後援会などの処理の見通しをお願いしたい。
- ・町との座談会で取り上げていただいた中の目地区の歩道については、今回は実施できないとの回答あり。

## 8 閉会

第一小学校 学校運営協議会委員（令和6年度）

	氏名	備 考	地区
1	黒澤 哲人	学校後援会長	萩生
2	木村 勝男	中部地区公民館長	萩生
3	長岡 佳奈	有識者（あ～すまいり～ず）	萩生
4	長岡 祥子	保護者代表（母親委員長）	中
5	嶋貫 大地	P T A会長	萩生
6	巻坂 駿	地域活動推進員（中部地区公）	萩生
7	志田登紀子	いいでわくわくこども園長	萩生
8	片桐 天山	民生委員代表	萩生
9	小松 弘子	主任児童委員	萩生
10	小松 和浩	地域学校協働活動推進員（第一小）	
11	竹田 安路	校長	
12	安部 行史	教頭	
13	長谷部 靖	教務主任	

（任期：令和6年4月1日～令和7年3月31日）